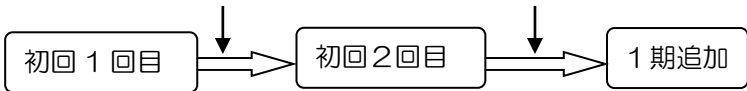
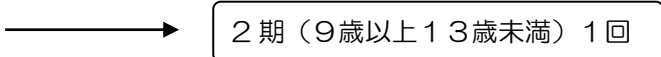


## 日本脳炎予防接種の説明

接種対象年齢	<p>1期：生後6月から7歳6か月に至るまでの間（3回） （望ましい接種年齢は、3歳～5歳）</p> <p>2期：9歳以上13歳未満（13歳の誕生日の前日まで）（1回）</p> <p>【特例措置】 ※平成7年4月2日生～平成19年4月1日生の方は、20歳未満の間 残りの不足回数分を定期接種として接種できます。</p>
ワクチンの種類	不活化ワクチン
予防する病気	<p>&lt;日本脳炎&gt;</p> <p>日本脳炎ウイルスの感染で起こります。ヒトから直接ではなくブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になります。ヒトからヒトへの感染はありません。流行は西日本地域が中心ですが、ウイルスは日本全体に分布しています。飼育されているブタにおける日本脳炎の流行は毎年6月から10月まで続きますが、この間に、地域によっては、約80%以上のブタが感染しています。以前は小児、学童に発生していましたが、予防接種の普及などで減少し、最近では予防接種を受けていない高齢者を中心に患者が発生しています。感染者のうち100～1,000人に1人が脳炎を発症します。脳炎のほか髄膜炎や夏かぜ様の症状で終わる人もいます。脳炎にかかった時の死亡率は約20～40%ですが、神経の後遺症を残す人が多くいます。</p>
接種回数	<p>● 標準的な接種</p> <p>1期：初回接種は6日以上標準的には6日～28日の間隔をおいて2回 追加接種は6月以上、標準的にはおおむね1年を経過した時期に1回 （6日から28日までの間隔） （6月以上、標準的におおむね1年）</p> <p style="text-align: center;">  </p> <p>2期：9歳以上13歳未満で1回</p> <p style="text-align: center;">  </p> <p>※特例措置の対象者は、過去に受けられた接種歴等でスケジュールが異なってきます。母子手帳で接種歴を確認の上でかかりつけ医へご相談ください。接種歴がご不明の場合は、佐賀市健康づくり課（電話 0952-40-7279）へご相談ください。</p>
実施時期	年間通して実施
実施場所	個別予防接種実施医療機関
注意事項	<p>幼児期に受ける1期の初回接種2回と追加接種1回の計3回の接種で基礎免疫ができます。しかし、1期でできた抗体は、徐々に薄れていきます。そこで2期（9歳以上13歳未満）の接種を行い、追加の免疫を作る必要があります。2期の接種は、1期の基礎免疫ができていないと効果がありません。まずは、幼児期に接種を受け、しっかりと基礎免疫をつけましょう。</p>
副反応	<p>接種1日目にピークとして発熱がみられ、他に局所反応として注射部位の腫れ、じんましん、発疹などもみられています。</p>
備考	<p>各医療機関に予約の有無や時間を確認してください。 必ず体温を測って、予診票と母子健康手帳を持っていきましょう。</p>



## 予防接種を受けに行く前に

### 予防接種に行く前のチェック

- お子さんの体調はよいですか。
- 今日受ける予防接種について、必要性、効果及び副反応など理解していますか。わからないことがあれば、質問をメモにしておきましょう。
- 母子健康手帳は持ちましたか。
- 予診票の記入は済みましたか。

## 1. 接種を受ける前に

予防接種は体調のよい時に受けるのが原則です。日頃から保護者の方はお子さんの体質、体調など健康状態によく気を配ってください。そして気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけ医や佐賀市健康づくり課にご相談ください。

安全に予防接種を受けられるよう、保護者の方は、以下のことに注意の上、当日に予防接種を受けるかどうか判断してください。

- (1) 当日は、朝からお子さんの状態をよく観察し、ふだんと変わったところのないことを確認するようにしましょう。  
予防接種を受ける予定であっても、体調が悪いと思ったら、かかりつけ医に相談の上、接種をするかどうかが判断するようにしましょう。
- (2) 受ける予定の予防接種について、必要性や副反応についてよく理解しましょう。わからないことは、接種を受ける前に接種医に質問しましょう。
- (3) 「母子健康手帳」を必ず持っていきましょう。
- (4) 予診票は、接種する医師への大切な情報です。責任をもって記入するようにしましょう。
- (5) 予防接種を受けるお子さんの日頃の健康状態をよく知っている保護者の方が連れて行きましょう。

## 2. 接種を受けた後

- (1) 予防接種を受けた後 30 分間程度は、医療機関（施設）でお子さんの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。急な副反応が、この間に起こることがまれにあります。
- (2) 接種後、生ワクチンでは 4 週間、不活化ワクチンでは 1 週間は副反応の出現に注意しましょう。
- (3) 接種部位を清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位をこすることはやめましょう。
- (4) 当日ははげしい運動は避けましょう。
- (5) 接種後、接種部位の異常な反応や体調の変化があった場合は、速やかに医師の診察を受けましょう。

【お問合せ先】

佐賀市役所 健康づくり課 予防接種係

0952-40-7279